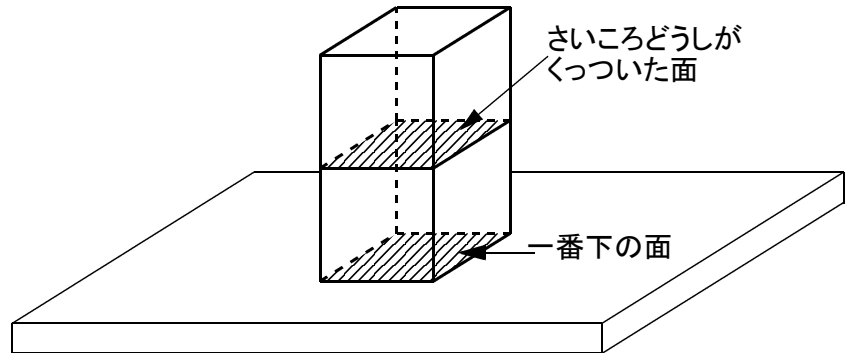


2つのさいころを下のようにテーブルの上に重ねて置きました。
まわりから直接見ることのできない面は、一番下の面やさいころどうしがくっついた面となります。



同じように、3つのさいころを下のようにテーブルの上に重ねて置きました。
一番下の面とさいころどうしがくっついた面のすべての数の和は、いくつになるでしょう。

<ヒント>

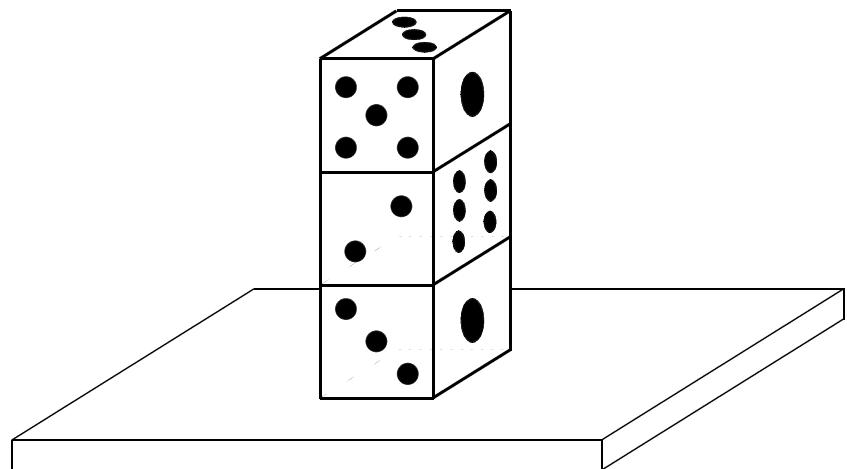
※さいころには、反対側どうしの目をたすと、その和はそれも7になるというきまりがあります。だから、

目の数 1 の反対側の目の数は $7 - 1$ で 6

目の数 2 の反対側の目の数は で

目の数 3 の反対側の目の数は で

となります。このことを使うと問題を解くことができます。



(平成19年度千葉県学力学習状況調査から)

(どのように考えて答えを求めたか、友だちにわかるように書きましょう)

答え

※ 考え方はいくつもあります。時間があれば違う方法を考えてみよう。

チャレンジ問題 1 (サイコロの問題) 解答・解説

<p>ヒント</p>	<p>【正答】 $\begin{array}{ c } \hline 7-2 \\ \hline 7-3 \\ \hline \end{array}$ $\begin{array}{ c } \hline 5 \\ \hline 4 \\ \hline \end{array}$</p>
<p>解答例</p>	<p>【答え】 18</p> <p>1 : (さいころのきまりを使って、計算で答えを求めます。) 3つのさいころの反対側どうしの目の和は $7 \times 3 = 21$ 一番上のさいころは3の目が見えているので $21 - 3 = 18$</p> <p>2 : (さいころ1つずつに注目し、見えない面がそれぞれに1組ずつあることから答えを求めます。) 一番上のさいころの見えない面の目の数は $7 - 3 = 4$ 真ん中のさいころの見えない面の目の数の和は 7 一番下のさいころの見えない面の目の数の和は 7 よって、$4 + 7 + 7 = 18$</p> <p>3 : (さいころ一つずつに注目し、見えている面から反対側の数を求め、上下の見えない面の目を求めます。) 一番上のさいころの見えない下面の目の数は $7 - 3 = 4$ 真ん中のさいころの見えているのが2と6なので反対側が5と1 上下の見えない面は3と4 一番下のさいころの見えているのが1と3なので反対側が6と4 上下の見えない面は2と5 よって、$4 + 3 + 4 + 2 + 5 = 18$</p> <p>4 : (さいころのきまりを使って、3つのさいころの目のすべての和を求め、見えている目の数をひいて答えを求めます。) 3つのさいころの目の総和は $7 \times 3 \times 3 = 63$ 見ることのできる部分は $7 \times 2 \times 3 + 3 = 45$ よって $63 - 45 = 18$</p>